



平成 27 年 11 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社 オ オ バ
代表者名 代表取締役 社長 辻 本 茂
(コード：9765 東証第1部)
問合せ先 常務執行役員 営業本部長 清水 雄
(TEL. 03-3460-0111)

宮城県県有施設の屋根を活用した太陽光発電事業に関するお知らせ ～再生可能エネルギーを活用した公共施設有効活用に関する業務を開始しました～

まちづくり総合建設コンサルタントの(株)オオバ(本社・東京都目黒区、社長・辻本茂)が、宮城県の公募した「県有施設の屋根を活用した太陽光発電事業」において、県有施設屋根に太陽光パネルを敷設し、発電事業を行う事業者候補として選定された3施設中2施設が、平成27年9月30日に発電開始となりましたので、お知らせいたします。

なお、残り1施設の太陽光発電設備に関しては、平成27年12月末の完成を目指し、現在工事を行っております。

記

1. 業務内容

(1) 経緯

宮城県では、県が保有する施設の屋根等を民間発電事業者に貸し出す事による有効活用と、民間活力による太陽光発電設備の普及促進を図るため、本事業の公募を行いました。

当社において取り組んでいる未来の環境づくりへの貢献として、太陽光発電事業は再生可能エネルギーを活用した有効な手法であり、宮城県の地域経済振興にも寄与できると考え、本事業の公募に応募する事となり「東北歴史博物館」「宮城県古川黎明高等学校」「宮城県白石高等学校」の3施設において、事業候補者として選定されました。

(注：「宮城県白石高等学校」においては、現在太陽光発電設備の工事中であり、平成27年12月末に稼働予定となっております。)

(2) 業務の目的

本業務の目的は、普段利用していなかった公共施設屋根を活用し、再生可能エネルギー発電設備の普及促進と、非常時に一時的な電力供給を担い震災等に備える事であります。

当社は、「まちづくりのソリューション企業」として、大正11年の創業以来一貫してまちづくりに携わり、土地活用の支援をしていく中で、東日本大震災復興支援業務にも携わってまいりました。

再生可能エネルギーの活用の拡大は、上記の通り県の施策ともなっており、本業務公募時の提案項目として、普及活動の促進のための一助となるべく、設備の発電状況の確認や再生可能エネルギーについての教育に活用できる、情報モニターシステム一式を県施設側に贈呈し、普及啓発に役立てていただく事を盛り込みました。

また、災害等停電時の対策として、緊急用の電力として使用できる様に、県有施設にポータブル蓄電池(次ページ写真)5台を贈呈、その蓄電池を充電するため、太陽光発電設備に非常用電源コンセントを設置いたしました。

EnergyStation

エナジーステーション



贈呈設備「ポータブル蓄電池」設備仕様
出力電圧：A C 100V
重 量：約12kg
使用目安：携帯電話22台分（10whの場合）
照明器具8時間（20wの場合）

2. 太陽光発電設備の内容（平成27年9月30日現在）

【発電所1】

① 名 称	株式会社オオバ東北歴史博物館太陽光発電所
② 所在地	宮城県多賀城市高崎一丁目2-1
③ 設備容量	403.75kw
④ モジュール	170w：ソーラーフロンティア社

【発電所2】

① 名 称	株式会社オオバ古川黎明高等学校太陽光発電所
② 所在地	宮城県大崎市古川諏訪一丁目4-26
③ 設備容量	292.40kw
④ モジュール	170w：ソーラーフロンティア社

3. 事業期間

平成27年 9月30日～平成47年10月31日（設備撤去期間1ヶ月含む）

4. 今後の見通し

当該業務提携が当期の業績に与える影響は軽微であります。

以上